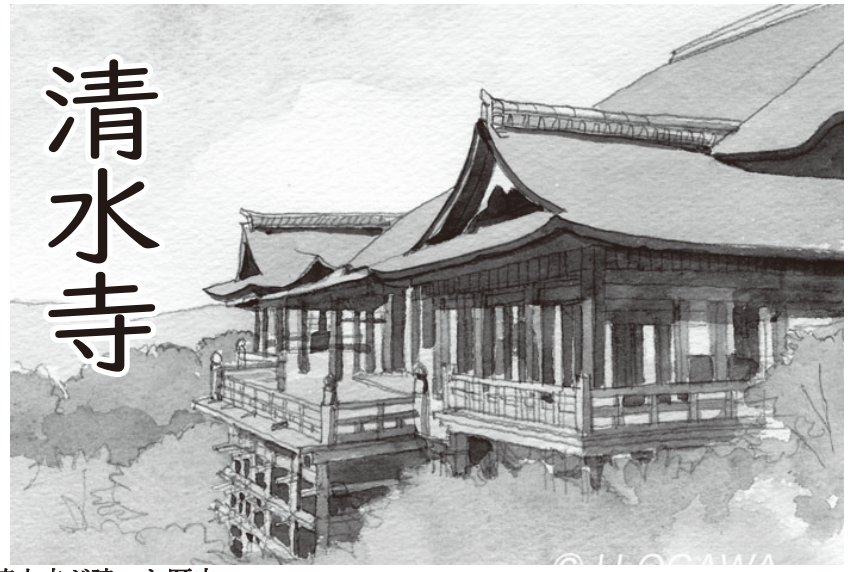
― 銀閣寺について調べたこと・見学して学んだこと ―



■清水寺が建った歴史

始まりは延鎮上人。「延鎮上人」は「えんちんしょうにん」と読みます。奈良時代から始まった宗派の僧侶です。宝亀 9 年（778 年)、ある日、夢で「木津川の北流に清泉を求めて行け」というお告げを受け、翌日にその清泉を求めて山に入ったと記録されています。その山とされるのが音羽山。その山麓に滝があり、「このことだったのか！見つけたぞ！」と、その近くに住み始めました。その際、観音霊地を守護するようにと偶然出会った修行僧に言われ、その地を守り始めたそうです。

ちなみに、その修行僧は行叡居士（ぎょうえいこじ）と言われるもので、話しが終わったとたんにフッと消えてしまったそうです。

■寺にしたのは坂上田村麻呂

宝亀 11 年（780 年）鹿を捕まえるために山に入った坂上田村麻呂。

鹿を探しているうちに、綺麗な水を見つけ、その水源を探す家に、延鎮上人と出会いました。延鎮上人は殺生はいけませんよと教えられ、それに感銘を受けた坂上田村麻呂がお堂を滝の近くに建てたのが、現在の清水寺の始まりとされています。

清水寺が建った歴史はこのようになっています。

■清水寺の豆知識①・・・清水の舞台から飛び降りる

「清水の舞台から飛び降りるつもりで」とよく言いますよね。思い切って物事を決断することをと言います。

■清水寺の豆知識②・・・今年の漢字

毎年年末になると、今年を象徴する漢字 1 文字が発表されます。これは、12 月 12 日に行われる行事で、清水寺の貫主（住職）が書いています。